

平成 16 年 4 月 28 日

各 位

会社名 玉井商船株式会社
代表者名 取締役社長 本馬 修
(コード 9 1 2 7 大証 2 部)
U R L http://www.tamaiship.co.jp
問合せ先 取締役経理部長 平田 博司
(T E L 0 3 - 5 4 7 2 - 7 0 3 1)

- ・業績(単独)予想の修正に関するお知らせ
- ・役員の変動に関するお知らせ

・業績(単独)予想の修正に関するお知らせ

1. 平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の業績予想については、平成 15 年 11 月 21 日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

- (1) 平成 16 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,930	90	40
今回修正予想 (B)	3,910	123	40
増減額 (B - A)	20	33	0
増減率 (%)	0.5	36.6	0.0
(参考) 前期(平成 15 年 3 月期)実績	4,003	104	49

2. 修正の理由

平成 16 年 3 月期通期の業績は、営業収益 3,930 百万円、経常利益 90 百万円、当期純利益 40 百万円を予想しておりましたが、外航海運業部門においては、為替が想定より円高で推移したことなどで、44 百万円減収となる見込みです。また、内航海運業においては、内航タンカーの航海数増などにより 21 百万円増収となる見込みです。その結果営業収益は、20 百万円減の 3,910 百万円となる見込みです。

営業費用は、外航部門で、海運市況高騰の影響で短期用船の借船料高、燃料費高の状況のなか、円高によって一部費用が減額されたこと、また、効率配船、コスト削減努力などで、全体の運航費、船費、借船料が予想に比べ少なくなる見込みで、予想よりも合計で 60 百万円減少し、3,761 百万円となる見込みで、その結果、営業利益は、110 百万円の利益を予想しておりましたが、39 百万円増加し 149 百万円となる見込みです。

また、期末の為替レートを 110 円と予想しておりましたが、円高が進行し為替差損が増加したこともあり、経常利益は、90 百万円を見込んでおりましたが、33 百万円の増加にとどまり 123 百万円となる見込みです。

また、特別損失として貸倒引当金繰入額 27 百万円他計 51 百万円を計上し、法人税などを加減して、当期純利益は、当初見込みどおりの 40 百万円となる見込みです。

なお、連結業績予想の修正については、集計作業中のため後日行う予定です。

・ 役員の異動に関するお知らせ

当社は、平成 16 年 4 月 28 日開催の取締役会において、下記のとおり役員の異動について内定いたしましたので、お知らせいたします。(平成 16 年 6 月 29 日開催の定時株主総会に付議の予定)

記

平成 16 年 6 月 29 日付け

(1) 新任監査役候補

常勤監査役 かわむら ともしげ
 川 村 知 重 (日本軽金属株式会社 技術・開発グループ管理部長)
(社外監査役)

非常勤監査役 やまぐち しゅうじ
 山 口 修 司 (弁護士、岡部・山口・相澤・戸塚弁護士事務所)
(社外監査役)
(6 月 29 日開催の定時株主総会後に監査役の互選により常勤監査役を選出予定です。)

(2) 退任予定監査役

常勤監査役 田 島 弘 二 (日本軽金属株式会社 常勤監査役就任予定)

非常勤監査役 村 山 和 夫

以 上